

政策シート

(政策名) 産業と市民活動による担い手の確保
(予算費目名) 農業政策推進費

(総合計画体系)

「分野」 産業経済

30年後の姿 創造性と安定性を兼ね備えた浜松の産業が、世界経済を支えている。

- 10年後の目標
- ・ 輸送用機器関連産業に次ぐ新たなリーディング産業が集積し、持続可能な地域経済が確立している。
 - ・ 来訪者が浜松の魅力とおもてなしを実感し、リピーターが増えている。
 - ・ 多様な担い手による付加価値の高い農林水産業が行われている。

◆基本政策 作業から経営に！変革を遂げる農林水産業

◇政策の概要

都市と農山漁村との交流促進を図るとともに、農林水産業を活用した観光振興や農林水産業への理解促進を図る。

◇政策のコスト（千円）

		H27
年関係費(A+B+C)	予算	5,797
	決算	
	事業費 (A)	547
	人件費 (B)	5,250
	報酬 (C)	

◇政策の指標

政策指標（単位）	単位	H36 目標値	年度	H27
グリーンツーリズム交流人口	人	3,180,000	目標	2,910,000
			実績	
			目標	
			実績	
			目標	
			実績	

◇政策の進捗・課題

<進捗>

◇政策実現のために実施する事業一覧

	事業名	重点戦略	主要事業	完了	コスト (千円)	事業費 (千円)	人工				報酬 (千円)
							正規	再任用 (31h)	再任用 (26h)	非常勤	
1	次代につなぐ農業推進事業				5,797	547	0.8				
2											
3											
4											
5											
6											
7											
8											
9											
10											
11											
12											
13											
14											
15											
16											
17											
18											
19											
20											
21											
22											
23											
24											
25											
計					5,797	547	0.8	0.0	0.0	0.0	0

※人工単価（千円） 正規7,000 再任用(h31)3,600 再任用(h26)2,600 非常勤2,800

事業シート (事業名) 次代につなぐ農業推進事業

◇事業目的・事業対象

都市と農山漁村との交流に関する事業や、県内外への地域のPRキャンペーン、地産地消の推進を行うことにより、農林水産業を活用した観光振興や農林水産業への理解促進、地場産農産物の消費拡大を図る。

◇事業の概要

- 1 グリーンツーリズム推進事業
 - (1) 静岡県グリーンツーリズム協会に対する負担金
 - (2) 浜松市グリーンツーリズム交流会に対する負担金
農村都市交流を図る事業の実施、情報発信等
- 2 地産地消推進事業
 - (1) 地産地消を推進するための情報発信
浜松ふるさと季節のたよりを活用した農林水産物の紹介、市内の直売所の紹介
 - (2) 地産地消給食等メニューコンテストの応募の推進
 - (3) ふるさと納税での浜松産農林水産物のPR

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	重点戦略	主要事業
H27	—	一般会計	自治事務(その他)			—

◇事業のコスト

		H27
事業費(千円)	予算	547
	決算	
	国・県支出	
	市債	
	その他	
	一般財源	547
	一般会計繰入金	
人件費(報酬等) (千円)		
人件費 (千円)		5,250
人工	正規	0.8
	再任用(h31)	
	再任用(h26)	
	非常勤	

◇事業の指標

主な事業活動・事業成果 指標 (単位)	重点戦略 項目No.	H27		H30	H36
		目標値	実績値	目標値	目標値
グリーンツーリズム交流人口(人)		2,910,000			3,180,000

◇事業の成果・課題・改善点・今後の取り組み

政策シート

(政策名) 産業と市民活動による担い手の確保
(予算費目名) 農業振興費

(総合計画体系)

「分野」 産業経済

30年後の姿 創造性と安定性を兼ね備えた浜松の産業が、世界経済を支えている。

- 10年後の目標
- ・ 輸送用機器関連産業に次ぐ新たなリーディング産業が集積し、持続可能な地域経済が確立している。
 - ・ 来訪者が浜松の魅力とおもてなしを実感し、リピーターが増えている。
 - ・ 多様な担い手による付加価値の高い農林水産業が行われている。

◆基本政策 作業から経営に！変革を遂げる農林水産業

◇政策の概要

市民が気軽に農作業体験ができる場を提供するとともに、耕作放棄地の解消を図るため市民農園の整備を推進する。

◇政策のコスト（千円）

		H27
年関係費(A+B+C)	予算	6,474
	決算	
	事業費 (A)	2,674
	人件費 (B)	3,800
	報酬 (C)	

◇政策の指標

政策指標（単位）	単位	H36 目標値	年度	H27
市民ふれあい農園数（体験農園を除く）	件	70	目標	52
			実績	
利用率（区画数ベース、休園・体験農園除く、単位%）	%	86.0	目標	81.5
			実績	
			目標	
			実績	

◇政策の進捗・課題

<進捗>

◇政策実現のために実施する事業一覧

	事業名	重点戦略	主要事業	完了	コスト (千円)	事業費 (千円)	人工				報酬 (千円)
							正規	再任用 (31h)	再任用 (26h)	非常勤	
1	市民に親しまれる農業推進事業			○	6,474	2,674	0.4	0.2	0.0	0.1	0
2											
3											
4											
5											
6											
7											
8											
9											
10											
11											
12											
13											
14											
15											
16											
17											
18											
19											
20											
21											
22											
23											
24											
25											
計					6,474	2,674	0.4	0.2	0.0	0.1	0

※人工単価（千円） 正規7,000 再任用(h31)3,600 再任用(h26)2,600 非常勤2,800

事業シート (事業名) 市民に親しまれる農業推進事業

◇事業目的・事業対象

多様化する余暇対策として、憩いの場の提供及び農業に触れ合う場の提供をする。

◇事業の概要

①市民ふれあい農園支援事業

- ・農業振興地域内の遊休農地の有効活用、多様化する余暇活動への対策として、市民が農業に親しみ理解を深めるための憩いの場となる市民農園の整備を行う。
- ・市で整備した市民農園(いなさ金指農園)の管理・運営を行う。

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	重点戦略	主要事業
昭和52年度	-	一般会計	自治事務	市民農園整備促進法 特定農地貸付法	-	○

◇事業のコスト

		H27
事業費(千円)	予算	2,674
	決算	
	国・県支出	0
	市債	0
	その他	160
	一般財源	2,514
	一般会計繰入金	0
人件費(報酬等) (千円)		0
人件費 (千円)		3,800
人工	正規	0.4
	再任用(h31)	0.2
	再任用(h26)	0.0
	非常勤	0.1

◇事業の指標

主な事業活動・事業成果 指標 (単位)	重点戦略 項目No.	H27		H30	H36
		目標値	実績値	目標値	目標値
市民ふれあい農園数 (体験農園を除く件数)		52			70
利用率 (区画数ベース、休園・体験農園除く、単位%)		81.5			86.0

◇事業の成果・課題・改善点・今後の取り組み